



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月12日

上場会社名 イフジ産業株式会社 上場取引所 東・福
 コード番号 2924 URL http://www.ifuji.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 徳夫
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長 (氏名) 原 敬 (TEL) 092-938-4561
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 平成24年12月10日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	4,821	△10.4	343	8.1	362	10.0	218	46.9
24年3月期第2四半期	5,383	△1.2	317	△18.4	329	△17.3	148	△47.7

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 219百万円(48.9%) 24年3月期第2四半期 147百万円(△48.0%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年3月期第2四半期	39	35	—	—
24年3月期第2四半期	26	78	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	7,740	—	3,460	44.7	—	—
24年3月期	7,873	—	3,364	42.7	—	—

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 3,460百万円 24年3月期 3,364百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	0.00	—	22.00	22.00	00
25年3月期	—	10.00	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	25.00	00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※24年3月期の期末配当22円の内訳は、普通配当金20円、記念配当金2円です。

※25年3月期(予想)の期末配当15円の内訳は、普通配当金13円、記念配当金2円です。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	11,078	2.5	927	14.6	921	12.7	515	18.8	92	71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	5,563,580株	24年3月期	5,563,580株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	7,427株	24年3月期	7,427株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	5,556,153株	24年3月期2Q	5,556,157株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 補足情報	12
鶏卵関連事業の販売実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要等を背景に国内景気は緩やかに回復の気配がみられるものの、欧州の債務危機問題による海外経済の減速懸念や円高の長期化等により、不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、雇用情勢・所得の低迷により消費者の生活防衛意識が強く、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は、鶏卵関連事業において前第2四半期連結累計期間に比べ鶏卵相場が低く推移したこと、また、調味料関連事業において、東日本大震災の影響で前第2四半期連結累計期間に増加したカップめんや即席めんが必要が、当第2四半期連結累計期間では落ち着いた影響等により、前年同期比10.4%減の4,821百万円となりました。

損益面につきましては、主に鶏卵関連事業において、東日本大震災で関東工場が被災した影響が当第2四半期連結累計期間ではなかったことや、原料の買付単価が落ち着いたこと等により、営業利益は同8.1%増の343百万円、経常利益は同10.0%増の362百万円、四半期純利益は同46.9%増の218百万円となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

①鶏卵関連事業

当セグメントにおきましては、売上高につきましては、販売数量が前年同期比3.2%増加したものの、鶏卵相場（東京M基準値）の平均（4～9月）が前年同期間に比べ14.0%（約27円）低く推移したこと、鶏卵相場に連動する液卵の販売単価も低くなり、液卵売上高は前年同期比10.7%減の3,981百万円となりました。また加工品売上高は同3.7%減の205百万円、その他売上高は同16.4%減の90百万円となりました。この結果、合計売上高は同10.6%減の4,277百万円となりました。

損益面につきましては、販売数量が増加したことや、鶏卵相場の低下により原料の買付単価が落ち着いたこと、また東日本大震災で被災した関東工場が全面復旧したこと等により、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益（営業利益）は前年同期比18.4%増の311百万円となりました。

②調味料関連事業

当セグメントにおきましては、新商品の販売は伸びたものの、前年の東日本大震災によるカップめんや即席めんの需要増が当第2四半期連結累計期間では落ち着いたことや、既存商品の販売が減少したこと、主力製品である顆粒や粉末調味料の販売が減少し、売上高は前年同期比9.6%減の534百万円となりました。

損益面につきましては、コストの削減及び生産効率の向上に努めたものの、売上高の減少の影響が大きくなり、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益（営業利益）は前年同期比48.5%減の25百万円となりました。

③その他

当セグメントにおきましては、主に不動産賃貸業であり、当第2四半期連結累計期間の売上高は前年同期比0.2%増の9百万円、セグメント利益（営業利益）は同26.0%増の6百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は7,740百万円となり、前連結会計年度末に比べて132百万円減少しました。

流動資産は3,758百万円となり前連結会計年度末に比べ91百万円減少しました。主な要因は、現金及び預金の増加23百万円、原材料及び貯蔵品の増加37百万円、受取手形及び売掛金の減少127百万円等によるものであります。

固定資産は3,981百万円となり前連結会計年度末に比べ41百万円減少しました。主な要因は、建物及び構築物の減少42百万円等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は4,279百万円となり、前連結会計年度末に比べて229百万円減少しました。

流動負債は2,457百万円となり前連結会計年度末に比べ40百万円減少しました。主な要因は、短期借入金の増加154百万円、支払手形及び買掛金の減少61百万円、未払法人税等の減少119百万円、災害損失引当金の減少61百万円等によるものであります。

固定負債は1,822百万円となり前連結会計年度末に比べ189百万円減少しました。主な要因は、長期借入金の減少196百万円等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は3,460百万円となり、前連結会計年度末に比べて96百万円増加しました。主な要因は、四半期純利益の計上218百万円及び剰余金の配当122百万円等により利益剰余金が96百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の42.7%から44.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、1,011百万円となり、前年同期に比べて190百万円増加しました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動により得られた資金は、前年同期に比べ282百万円増加し250百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上371百万円及び売上債権の減少127百万円等の資金の増加が、仕入債務の減少61百万円及び法人税等の支払額257百万円等の資金の減少を上回ったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用された資金は、前年同期に比べ32百万円増加し62百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出64百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用された資金は、前年同期に比べ53百万円増加し164百万円となりました。これは主に、短期借入金の増加150百万円及び長期借入金の返済による支出192百万円、配当金の支払額122百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期通期の業績予想につきましては、平成24年5月14日の「平成24年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第 1 四半期連結会計期間より、平成24年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。これにより、従来の方法に比べて、当第 2 四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ 1 百万円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年 9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,045	1,069
受取手形及び売掛金	1,713	1,585
商品及び製品	683	684
仕掛品	35	19
原材料及び貯蔵品	271	308
繰延税金資産	73	66
その他	41	35
貸倒引当金	△14	△10
流動資産合計	3,849	3,758
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,204	1,162
機械装置及び運搬具（純額）	360	366
土地	2,212	2,212
その他（純額）	16	19
有形固定資産合計	3,794	3,760
無形固定資産		
投資その他の資産	15	13
投資有価証券	40	42
繰延税金資産	142	139
その他	59	42
貸倒引当金	△29	△16
投資その他の資産合計	212	207
固定資産合計	4,023	3,981
資産合計	7,873	7,740

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年 9 月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	633	572
短期借入金	1,029	1,184
未払法人税等	258	138
未払消費税等	10	22
賞与引当金	64	64
役員賞与引当金	—	11
災害損失引当金	61	—
その他	440	464
流動負債合計	2,498	2,457
固定負債		
長期借入金	1,366	1,169
役員退職慰労引当金	527	547
負ののれん	66	54
繰延税金負債	28	28
その他	21	21
固定負債合計	2,011	1,822
負債合計	4,509	4,279
純資産の部		
株主資本		
資本金	455	455
資本剰余金	366	366
利益剰余金	2,549	2,646
自己株式	△4	△4
株主資本合計	3,367	3,464
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3	△3
その他の包括利益累計額合計	△3	△3
純資産合計	3,364	3,460
負債純資産合計	7,873	7,740

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日)	当第2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)
売上高	5,383	4,821
売上原価	4,338	3,736
売上総利益	1,045	1,085
販売費及び一般管理費	727	742
営業利益	317	343
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
受取保険金	—	6
受取賃貸料	3	3
負ののれん償却額	12	12
その他	9	8
営業外収益合計	26	30
営業外費用		
支払利息	14	10
その他	0	—
営業外費用合計	14	10
経常利益	329	362
特別利益		
災害損失引当金戻入額	—	8
特別利益合計	—	8
特別損失		
固定資産除売却損	0	0
災害による損失	57	—
特別損失合計	57	0
税金等調整前四半期純利益	271	371
法人税、住民税及び事業税	111	143
法人税等調整額	11	9
法人税等合計	123	152
少数株主損益調整前四半期純利益	148	218
少数株主利益	—	—
四半期純利益	148	218

四半期連結包括利益計算書
第 2 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	148	218
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1	0
その他の包括利益合計	△1	0
四半期包括利益	147	219
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	147	219
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月 30 日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月 30 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	271	371
減価償却費	127	105
負ののれん償却額	△12	△12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4	△4
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1	△0
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	11	11
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	△63	△61
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△15	19
受取利息及び受取配当金	△0	△0
受取保険金	—	△6
支払利息	14	10
固定資産除売却損益 (△は益)	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	208	127
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△601	△21
仕入債務の増減額 (△は減少)	△66	△61
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△2	11
その他	△3	21
小計	△134	512
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△14	△11
保険金の受取額	—	6
法人税等の支払額	△15	△257
法人税等の還付額	130	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△32	250
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△14	△14
定期預金の払戻による収入	14	14
有形固定資産の取得による支出	△19	△64
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
その他	△8	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△29	△62
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	100	150
長期借入れによる収入	100	—
長期借入金の返済による支出	△211	△192
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△99	△122
財務活動によるキャッシュ・フロー	△111	△164
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△173	23
現金及び現金同等物の期首残高	995	988
現金及び現金同等物の四半期末残高	821	1,011

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,782	591	5,373	9	5,383
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,782	591	5,373	9	5,383
セグメント利益	263	49	312	5	317

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	312
「その他」の区分の利益	5
四半期連結損益計算書の営業利益	317

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第 2 四半期連結累計期間(自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 9 月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	鶏卵関連事業	調味料関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,277	534	4,811	9	4,821
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,277	534	4,811	9	4,821
セグメント利益	311	25	337	6	343

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	337
「その他」の区分の利益	6
四半期連結損益計算書の営業利益	343

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第 1 四半期連結会計期間より、平成24年 4 月 1 日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第 2 四半期連結累計期間の「鶏卵関連事業」のセグメント利益が 1 百万円増加し、「調味料関連事業」のセグメント利益が 0 百万円増加しております。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

鶏卵関連事業の販売実績

(単位：百万円)

期別	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)		比較増減 (△は減)	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	前期比
		%		%		%
生液卵	3,853	80.6	3,373	78.9	△480	△12.5
凍結卵	606	12.7	607	14.2	0	0.2
液卵計	4,460	93.3	3,981	93.1	△479	△10.7
卵加工品	213	4.4	205	4.8	△7	△3.7
その他	108	2.3	90	2.1	△17	△16.4
合計	4,782	100.0	4,277	100.0	△504	△10.6